

公民館運営審議会 会議概要

1	審議会名.....平成26年度第5回公民館運営審議会
2	日時.....平成27年3月19日 午後2時00分から3時30分まで
3	会場.....明科公民館 講堂
4	出席者.....内田 昭三会長、宮川 智江古副会長、曾根原 幸人委員、望月 芳雄委員、峯村 宏委員、松尾 基委員、 関 晏弘委員、佐治 良夫委員、平倉 勝美委員、大友 博秋委員、内田 浩志委員、渡辺 春美委員、田中 吉弘委員
5	市側出席者 橋渡教育長、北條教育部長、中央公民館蓮井館長、豊科公民館内川館長、穂高公民館中田館長、三郷公民館千國館長、堀金公民館平倉館長、明科公民館安井館長、中央公民館藤森主事、沖主事
6	公開・非公開の別.....公開
7	傍聴人 0人.....記者 0人
8	会議概要作成年月日 平成27年3月23日
協 議 事 項 等	
1	<p>会議の概要</p> <p>(1) 開 会 宮川副会長</p> <p>(2) あいさつ 内田会長</p> <p>(3) 報告事項</p> <p>①安曇野市公民館条例の改正について</p> <p>(4) 審議事項</p> <p>①平成27年度公民館事業計画について</p> <p>(5) そ の 他</p> <p>(6) 閉 会 宮川副会長</p>
2	<p>審議事項</p> <p>①平成27年度公民館事業計画について（説明：中央公民館藤森主事、各分館長）</p> <p><b>【委員】</b>各公民館の事業計画の中に「中央公民館事業費」という表記がありますが、各公民館で書き方が統一されていないような印象を受けます。この内容について説明をお願いします。</p> <p><b>【事務局】</b>事業計画は予算の区分ごとに掲載しています。各公民館で行う講座等の講師謝礼については中央公民館事業費として一括計上していますので、そこから支出することになります。そのため、各公民館の事業計画の中に「中央公民館事業費」という項目を設けています。</p> <p><b>【委員】</b>中央公民館事業について、これからどういう計画で進めていくのかお聞きしたいと思います。また、先般ラジオで安曇野市が「ワンバウンドふらば～るバレエ」の先駆者だという話を聞きました。この種目は独自のルールを定めることができると聞いていますが、公民館が主導でルール作りをしているのかどうかお聞きしたいと思います。もう一つ、中学校の卒業式の記念品が卒業証書のホルダーのみだということですが、従来ははんこなど思い出に残るようなものを贈っていたように思います。以前から記念品はホルダーのみだったのでしょうか。</p> <p><b>【事務局】</b>まず、中央公民館事業の今後の計画について説明します。条例では安曇野市に中央公民館を設置し、各地域の公民館は分館という位置付けにしています。中央公民館では、全市的公民館事業を行うこととなっております。事業としては、市公民館大会、市総合芸術展や上部団体である長野県公民館運営協議会、中信地区公民館運営協議会との連絡調整などがあります。実際には、全市的公民館事業と</p>

して10万人を対象にするというのは、公民館事業としてそぐわない面があります。そのため、10万人を対象にした公民館事業は今のところ計画しておらず、研修や各分館との連絡調整を重視しています。分館の事業が充実するよう、中央公民館が支援していくという形で考えております。続いて、ワンバウンドふらば～るバレーについてですが、3、4年前から安曇野市として取り組んでおりまして、生涯学習課スポーツ推進担当が担当しております。ルールの関係については承知しておりませんが、チーム構成の男女比を取り決めているということはこちらでも把握しております。

**【事務局】** 補足でワンバウンドふらば～るバレーについて説明します。ルールは全国的に同じだと思いますが、地区でやっている場合は、女性がソフトボールに参加できないということもあり、女性の参加を多くするためにチーム内で男性の人数制限を設けるなどしています。他にも独自に決まりを作ってやっているところもあると思います。

**【事務局】** 卒業式の記念品についてお答えします。卒業式の記念品として卒業証書ホルダーを贈っています。従来は筒状のものでしたが、現在はノートタイプのものになっています。市の予算から支出するものとしては、全ての中学校で統一してホルダーを記念品としています。学校によっては、保護者の方に負担していただく形で、3年間の思い出の詰まったアルバムを作るなど、学校独自で別途予算を持ってやっているところもあります。

**【事務局】** ワンバウンドふらば～るバレーについて、安曇野市に先駆的に導入されているということですが、それまでにソフトバレーボールが相当盛んに行われていて、レベルが高くなりプロ級の集団が生まれてきた結果、地区館対抗だと競争にならないという状況が出てきました。ワンバウンドふらば～るバレーはボールが丸ではなく少し変形したボールで、バウンドするとどちらへ跳んでいくか分からないイレギュラーな動きをするためゲーム性があり、楽しくできるということで、採用されることが多くなってきていると感じております。各団体の状況に合わせてローカルルールを設けてそれぞれ楽しんでいるということで、普及が進んでいるのではないかと思います。

**【委員】** 「中央公民館事業費」を使うのは各公民館で、その費用を中央公民館が支払っているという解釈で良いですか。中央公民館事業費の他にも「スポーツ振興事業費」や「青少年健全育成費」などの記載がありますが、この他にもそういったものはありますか。

**【事務局】** 資料を一般会計予算に準じて予算の項目ごとに記載していますので、このような表記になっております。先程申し上げたとおり、公民館で行う講座の講師謝礼については、各公民館事業費には計上せず、中央公民館事業費に150万円ほど一括計上しております。それを執行するにあたっては、各公民館が執行できるようになっています。予算を各公民館事業費に振り分けていないため、予算上の項目としては、中央公民館事業費として掲載しているということです。また、同じく公民館事業の中で「スポーツ振興事業費」や「青少年健全育成費」から支出する場合がありますので、同様に記載しています。

**【委員】** 堀金公民館事業の市民運動会が中央公民館事業費となっておりますが、これは特別な理由がありますか。

**【事務局】** 堀金公民館事業費にも市民運動会に支出する予算はあります。他の公民館と整合が取れておらず大変恐縮ですが、中央公民館では市民運動会の実行委員会に交付金を交付していますので、実行委員会から支出する分の金額は中央公民館事業費になります。また、公民館で景品などを購入する場合の予算は各公民館事業費ということで、今ご指摘いただいた数字は正しくは堀金公民館事業費に載るべきものですので、修正します。市民運動会の交付金については世帯割に基づき、実行委員会に直接支払いをしている状況です。

【委員】穂高公民館事業について意見ですが、来年度は事業が非常に多彩になり良いと思います。わさび祭りや運動会もより盛大に行われるとのことと安心しました。この2つの事業は穂高地域の中でも大勢の人が集まり、世代間交流も行われますので、平成28年度以降についてもぜひ続けていただきたいと思っています。地区公民館と協力して事業を展開していけばより良くなるのではないかと思いますので、よろしくをお願いします。

【事務局】三郷公民館、堀金公民館事業では、普通救命講習や地域の防災力アップを目的とした事業が計画されておりますが、こういった事業をより盛んにしていってほしいと思います。また、明科公民館事業で計画されている「男性版お楽しみサロン」について、男性向けの講座ということで、非常に良い試みであると思われ、今後の動向を楽しみにしています。

【委員】三郷公民館の「市民芸能発表会」の予算が従来の2倍程度になっていますが、内容に変更はありますか。

【委員】「市民文化産業展」、「市民ふれあいコンサート」、「市民菊花展」についても軒並み予算が例年より増えています。設備等に費用がかかるということでしょうか。

【事務局】来年度は文化祭で三郷文化公園体育館を使いますが、大変広いので寒さがしのげるか心配な面があります。暖房設備が現在使えない状態なので、ブルーヒーター等で対応せざるを得ないと考えております。その他の設備としては特に費用がかかる部分はありません。

### 3 その他

配布物について（説明：中央公民館藤森主事）

【委員】公民館には行政職員と公民館長、社会教育指導員がいますが、自分の仕事以外には関心を示さないような雰囲気を感じる事がよくあります。教育委員会で各公民館を見回って、市民サービスが徹底されているかチェックしてほしいと思います。また、担当が不在のときに他の職員に伝えても話が上手く伝わらないときがあります。他の人の仕事に踏み込んではいけないという指導を受けているのか分かりませんが、もう少し横のつながりを持った方が良いと思います。

【事務局】ご意見ありがとうございます。こういったご意見があったということは各公民館に伝わります。市では「接遇マニュアル」があり、市民サービスの向上を以前からうたっております。喜んで使っていただけるような施設になるよう、接遇を改善していきたいと思っております。

【委員】本庁舎ができて支所の職員の人数が減ってしまうので、心配しています。地域課の職員として公民館と支所が一体となり動き始めたところで人が減るということで、例えば相談業務などは本庁で行うということになっても、実際に支所の窓口にお年寄りの人が相談に来たら、相談を受けなければいけないと思います。支所の人数が減っても、市民は今までどおりしてくれるよう支所や公民館に期待をかけていると思うので、職員は今までよりも大変になると思います。合併したことによって、残念な形にならないようにしていただければと思っています。

（終了）